

概要	
日時	令和8年1月31日（土）14:00-17:00
場所	男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室
参加者数	41名

（参考）再整備の目標（案）及び共通方針

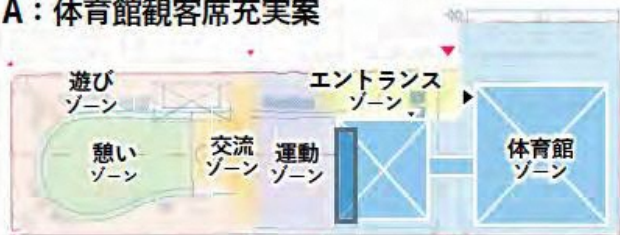
再整備の目標（案）

- ・ 熊谷駅南エリアの新たな「顔」となり、多様な活動や交流を育む
- ・ 市民とともに豊かな緑を継承し、日常の暮らしを豊かにする
- ・ “する・みる・ささえる”で関われる、市民のスポーツ振興の拠点となる
- ・ 誰もが安心して利用でき、災害時に地域の安全を支える

【共通方針】

- ・ 熊谷駅南口からアクセスしやすく、体育館入口に近い区域を「エントランスゾーン」とする
- ・ 市役所通りから連続するシンボル性の高い空間である、中央の並木空間を、賑わいの中心となる「交流ゾーン」とする
- ・ 現在の遊び場がある場所を中心に、その機能を継承しつつ、北・西側のエリアを「遊びゾーン」とする
- ・ 体育館との利用の連携を踏まえ、体育館に隣接するエリアを「運動ゾーン」とする（B案を除く）
- ・ 既存樹木に囲まれたオープンスペースが確保できる位置には芝生広場を中心とした「憩いゾーン」とする

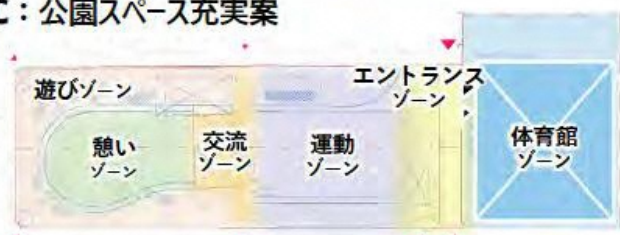
A：体育館観客席充実案



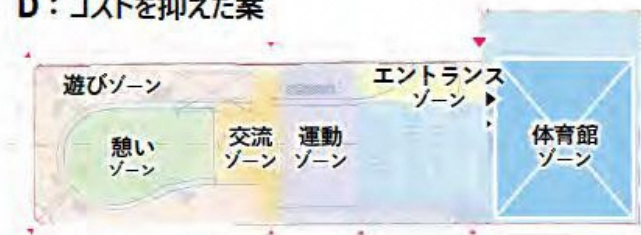
B：既存体育館利用継続案



C：公園スペース充実案



D：コストを抑えた案



凡例 ○…シールが貼られた箇所 ・…貼った理由などの補足 ■…シールは貼られていない、案への意見の内容

A 案

A. 体育館観客席充実案

参加者や観客数の多い大規模大会にも対応できるように、観客席数を確保しつつ、公園オープンスペースも確保した配置案。

アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、2階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約2,100席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約13,000㎡
体育館建設費	約140億円

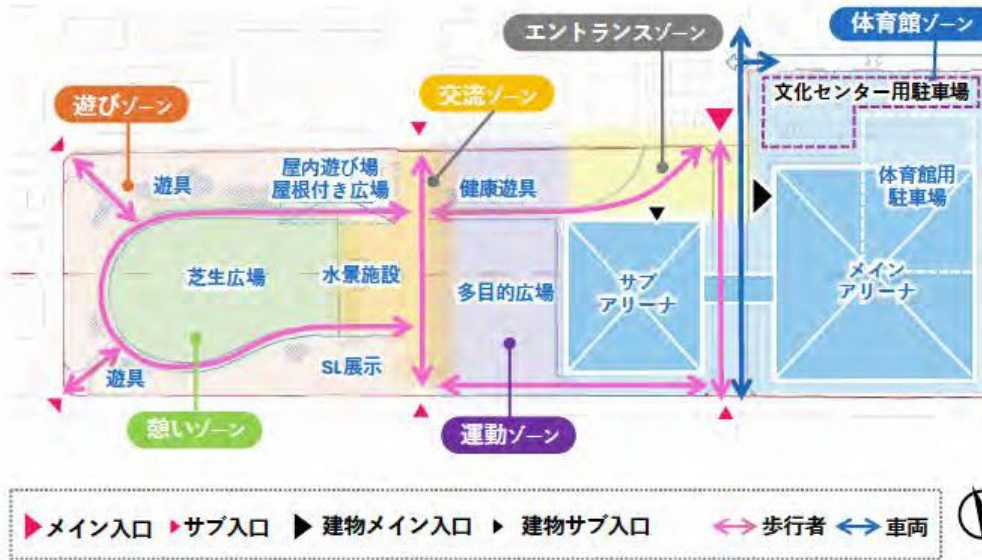


【メリット】

- ・ 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい
- ・ メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい
- ・ 体育館と公園利用の連携がしやすい
- ・ メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい

【デメリット】

- ・ メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる
- ・ 公園のオープンスペースがやや少なく既存樹の一部を伐採
- ・ 工事中は既存体育館の利用を継続できない
- ・ メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい
- ・ 分棟のため施設間の移動や搬出入が不便
- ・ メイン・サブの一体利用がしにくい
- ・ 分棟のため、維持管理コストがかかる
- ・ 公園側に建築が立地し圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる



▶メイン入口 ▶サブ入口 ▶建物メイン入口 ▶建物サブ入口 ↔歩行者 ↔車両

良いところ (●)

○観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい (●×10)

・ 4案のうちベターな案。体操教室をしているが、大きいイベントが出来ると良い

○メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい (●×5)

○メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい (●×3)

・ 防災力が高いことは良いこと

○体育館と公園利用の同時運用がしやすい (●×1)

・ 公園がなるべく広くできそうな案が良い

○体育館と公園利用の連携がしやすい (●×1)

○体育館ゾーン (●×1)

○交流ゾーン（●×1）

- ・ケヤキを残したい！！

■公園の並木は残したい

- ・交流ゾーンの縦軸の並木は残したい

■メイン・サブアリーナ間の動線

- ・河川敷に行きやすい。河川敷地などと一体的に作るのが良い

■野球などに活用している団体がいるため多目的広場が残る案は良い

- ・多目的広場が残ることが良い。野球などに活用している団体がいるので、屋外スポーツの機能を残しておけると良い

■工事中も体育機能を残せるのは良い

- ・工事中も体育機能を残せるのは良いこと

■ライブやコンサート、Bリーグ、SVリーグが開催できると良い

- ・県大会ができるとよい
- ・全国大会もできるとよいが、利用料が気になる（利用料が低いとよい）
- ・ライブなどの大規模なイベントが自宅の近くで開催されるとうれしい
- ・BリーグやSVリーグの開催ができるとよい
- ・音楽コンサートでは音響設備の質が気になる（質が高い方がよい）

気になるところ（●）

○公園側に建築が立地し圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる（●×5）

- ・住宅街や商業地域に向けての風の通り道がなくなる
- ・まちの換気ができなくなる
- ・風が通らないとヒートアイランドでまちがより暑くなるのではないか
- ・建物があるよりも風上に緑があると冷たくなるのではないか
- ・住宅側に圧迫感がでる
- ・騒音の調査をしていたが、建物ができると音が響くようになるのではないか。建物できて音が響くようになった場所があるので心配
- ・見た目や住宅街への風通しが悪くなるのが気になる

○メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい（●×4）

- ・大会の運営上は一体型がいい
- ・災害物資の拠点にしづらいのは良くなさそうと感じた

○メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる（●×3）

- ・以前は1Fは駐車場はできないと言われたが、今は1Fに駐車場があるのはなぜか気になる
- ・地下駐車場への車の動線がどのようになるか、混雑につながらないかが気になる
- ・今後人口減少していく中でこの建設コストで今後やっていけるのか
- ・プロを呼ぶよりも、市民が日常的に安く体をきたえられる体育館が良い
- ・建設コストが高い

○公園のオープンスペースがやや少なく既存樹の一部を伐採（●×3）

- ・公園の花植え活動ボランティアをしている友人は公園の木を切って欲しくないと思っている

○分棟のため施設間の移動や搬出入が不便（●×2）

○分棟のため、維持管理コストがかかる（●×1）

○メイン・サブの一体利用がしにくい分棟のため、維持管理コストがかかる（●×1）

○メイン・サブの一体利用がしにくい（●×1）

○体育館建設費 約140億円（●×1）

- ・D案と50億の差がある。140億円という金額は気になる

○メインアリーナが2階でバスケットコートは3面（●×1）

- ・メインアリーナが2階だと大会運営がしづらい
- ・バスケットコートが3面というがコート間のゆとりがどれくらいあるのか気になる
→大会の基準にはのっとっている
→バレーボールは9人制もあるのでその辺もチェックして欲しい

○サブアリーナで公園の面積が減る（●×1）

- ・公園の面積を減らしてまでサブアリーナを別棟にするのか
- ・体育館の建替は体育館の敷地の中でやってほしい

○工事中は既存体育館の利用を継続できない（●×1）

- ・スポーツ団体の活動場所がなくなるので、工期を分けてメインとサブの体育館で工事を分けてほしい
- ・最低でも工事期間が2年かかるので、体育館を工事中のときに中学生がどこで練習するのか工事の進め方考えてほしい！次回教えて！
- ・サブアリーナとメインアリーナは順につくってほしい
- ・工事中使えなくなるので、先にサブを建てては？

○駐車場台数（●×1）

- ・70台だと少ない、現状も足りていない
- ・河川敷まで行くのは大変。不便

○文化センター用駐車場（●×1）

- ・1F 駐車場は文化センターと共有できるようにする。現在、文化センター用は体育館の人が使えない
- ・B1F の駐車場は、水がでる

■体育館用駐車場ではなく隣の小学校跡地を駐車場にしてはどうか

- ・立体駐車場ではなく、隣の小学校の跡地を駐車場にする！

○観客席数が少ない（●×2）

- ・体育館客席充実案という割に固定席の数が少なすぎる
- ・少なくとも 3,000 席は欲しい

■観客席数についてはたくさんの席は不要

- ・大田は 5000 席あるが、熊谷には 5000 席以上はいらぬ。固定が 3000 席あれば十分
- ・音響施設がないようなのでスケートショーの興行もできず、たくさんの席は不要
- ・サブアリーナの席数は少しで良い

○エントランスゾーン（●×2）

- ・駅から来たときの顔になるところだから大切に検討できると良い
- ・メインアリーナやサブアリーナでイベントが行われた際、一斉に帰るタイミングに混雑したり、人が溜まることが予想される
- ・混雑や人溜まりを考慮すると住宅街側よりも川側のほうがよいのではないか

○アリーナ（●×1）

- ・サブアリーナが 2 面では足りない。サブアリーナ 2 面とメインアリーナ 3 面としてほしい
- ・サブアリーナは料金を安くして、子どもが使いやすくしてはどうか

○健康遊具（●×1）

■交流ゾーンの並木は残してほしい

- ・公園の中央にある今のイチヨウ並木は残してほしい！

■運動ゾーンについて公園としての面積は減らしたくない

- ・公園としての面積を減らしたくない

B. 既存体育館利用継続案

A案と同じ観客席数を確保しつつ、メインアリーナを公園側に配置することで既存体育館の利用を継続しながら整備できる案。

アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、1階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約2,100席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約11,000㎡
体育館建設費	約100億円

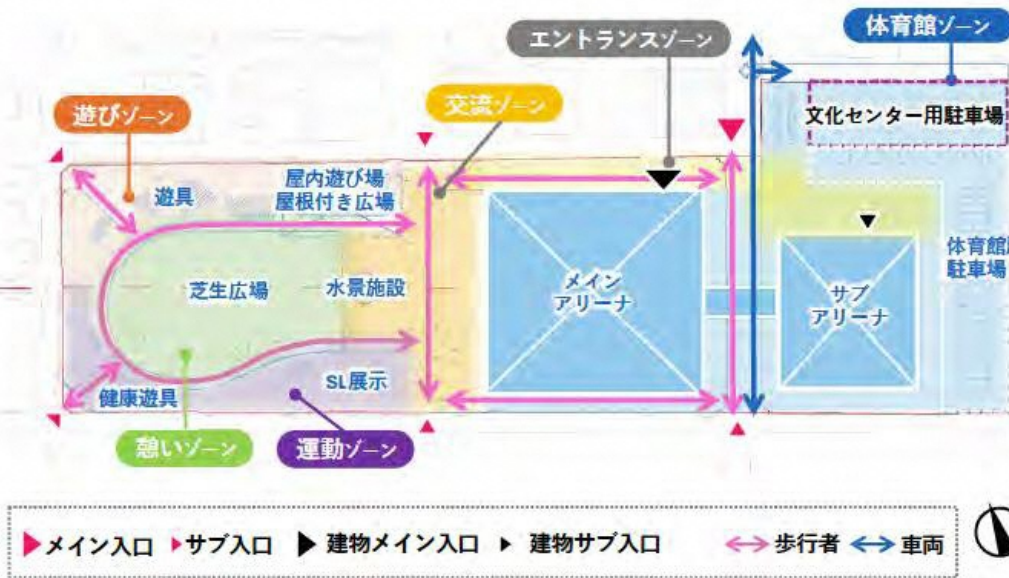


【メリット】

- ・ 既存体育館の利用を継続しながら整備可能
- ・ 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい
- ・ メイン・サブ分棟により、大会利用と市民利用の同時運用がしやすい
- ・ 体育館と公園利用の連携がしやすい
- ・ 建物入口付近に滞留空間を確保できる

【デメリット】

- ・ 公園のオープンスペースが最も小さくなり、既存樹の伐採も多い
- ・ 分棟のため施設間の移動や搬入出不が不便
- ・ メイン・サブの一体利用がしにくい
- ・ 分棟のため維持管理コストがかかる
- ・ 公園側に建築が立地し、圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる



良いところ (●)

- エントランスゾーン (●×3)
- 建物入口付近に滞留空間を確保できる (●×1)
- 既存体育館の利用を継続しながら整備可能 (●×12)
 - ・ 体育館を利用しているので、建設期間中でも使える場が1つでもある方がよい
 - ・ 既存の大会実施が継続してできる
 - ・ 代替施設がなく、現在の市民館は立地がよく集まりやすいため、なるべく使い続けたい
 - ・ 今の体育館が使えるからすごくイイ！
- 観客席数が多くより大規模なイベントに対応しやすい (●×4)
 - ・ 2種の大会を開催するなどの使い方ができる
- 体育館と公園利用の連携がしやすい (●×2)
- 体育館建設費 約100億円 (●×2)

- ・規模の割にコストが低い

○サブアリーナ（●×1）

- ・これまで市民で体育館を使っている人が、工事中も継続利用できるようにしたい

○メインアリーナが1階にある

- ・メインアリーナが1階なのが運営しやすい

気になるところ（●）

○公園のオープンスペースが最も小さくなり、既存樹の伐採も多い（●×9）

- ・公園のスペースが小さくなるのは困る
- ・多目的広場がなくなることが気になる
- ・公園が狭く、伐採が多い

○分棟のため維持管理コストがかかる（●×4）

- ・コストはできるだけ抑えられると良さそう
- ・A案とB案で体育館建設費が40億ちがう

○公園側に建築が立地し、圧迫感が出やすく、公園への見通しも損なわれる（●×2）

- ・Aに記載している理由と同様

○メイン・サブアリーナ（●×2）

- ・限られたスペースだが現在の敷地を目一杯活用して、アリーナも駐車場も1箇所に収めている点は良い
- ・約120億円と高いことが気になる
- ・現在使っている人が便利に使えるのか
- ・利用団体の声をきちんと聞くことが大切（観客席はどれくらい必要か、年何回大規模な活動を実施するのかなど）

○分棟のため施設間の移動や搬出入が不便（●×1）

■メイン・サブアリーナ間の動線

- ・河川敷に行きやすい。河川敷地などと一体的に作るのが良い

○メイン・サブの一体利用がしにくい（●×2）

- ・一体利用できない

○メインアリーナ（●×2）

- ・日当たりなど、近隣への影響が大きい
- ・アリーナが1階にある場合、浸水した際に避難所として活用できないことが心配
- ・広場がなくなり、木にも悪影響がありそう

○サブアリーナ（●×2）

- ・エアコンが必要
- ・本当に必要なのか？
- ・メインアリーナだけで足りるのではないか？
- ・体育館利用者としてはアップ会場として使えるサブも必要。今は公園でアップしている
- ・サブアリーナは上の階にしてはどうか。花火大会やさくら祭りの時にお金をとって観覧席にしてはどうか。稼ぐ考え方も必要
- ・サブアリーナが必要かどうかは、サブアリーナがある施設に聞いてみてはどうか？
- ・土手の景色を楽しむ
- ・体操の中学生の大会は、客席 2000~3000 あった方がいい（一方で、そんなに必要ないのではの意見あり）

○分棟のため施設間の移動や搬出入が不便（●×2）

- ・サブアリーナを建設せずメインアリーナを2階建てにしては？

○公園のオープンスペースが最も小さくなる（●×2）

- ・公園が小さくなるのが気になる

○SL 展示（●×1）

■駐車場台数に荒川河川敷も想定しているが泥だらけで使いにくいいため数に入れなくてほしい

- ・荒川河川敷も台数に想定しているが、泥だらけで使いにくいので想定に入れなくてほしい

■メインアリーナが公園側にあると花火が見えなくなったり、公園を潰す面積が多くなる

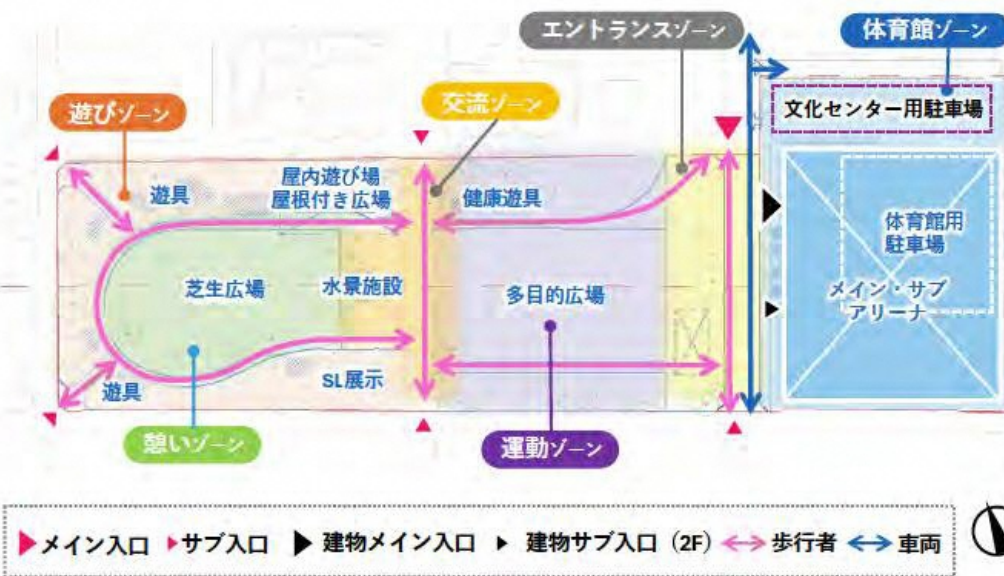
- ・メインアリーナをこの場所に整備すると公園をつぶす面積が多くなる
- ・メインアリーナが建つことで花火が見えなくなる

C. 公園スペース充実案

公園のオープンスペースの継承を重視した配置案。メインアリーナを2階、駐車場を1階とし、建物を現体育館側敷地に集約する。



アリーナ ※現行：バスケットコート2面、1階	メインアリーナ：バスケットコート3面、2階 サブアリーナ：バスケットコート1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約1,300席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現体育館敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（観音塔、児童館、管理事務所除く）	約15,000㎡
体育館建設費	約120億円



【メリット】

- 公園のオープンスペースが最も広く確保でき、既存樹木もより多く保全できる
- 集約管理により、分棟型よりも維持管理コストを抑えられる
- 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい
- メインアリーナが2階にあるため、浸水被害を受けにくい
- 入り口から公園全体を見渡せ、開放的な景観を確保できる

【デメリット】

- メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる
- 工事中は既存体育館の利用が継続できない
- メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい
- 大会利用と市民利用は両立しづらい
- 建物が高くなり、日照面や圧迫感に懸念がある

良いところ (●)

○公園のオープンスペースが最も広く確保でき、既存樹木より多く保全できる (●×16)

- 地域の愛着が大きい
- 市はみどりを保全するという方針があるので、それに最もフィットしているプラン
- アンケートで50%以上の市民がまちのみどり（街路樹）を守りたいと回答しているので、みどりが減るのはそれに反するのではない
- 公園のスペースは守っていききたい
- 公園が広く、なるべく木を切らないところがよい

○集約管理により、分棟型よりも維持管理コストを抑えられる (●×4)

- 維持管理コストが抑えられるとあるが、どのくらい抑えられるのか
- ランニングコストをしっかりと出して案を考えられると良い

○公園と体育館の利用者動線がわかりやすい (●×1)

○メインアリーナが2階にあるため浸水被害を受けにくい (●×4)

・いざという時のことも考えて、体育館が2階にあるとよい

○入り口から公園全体を見渡せ、開放的な景観を確保できる (●×1)

○多目的広場 (●×1)

■全体

・最も公園を残している案

○交流ゾーン (●×1)

・ケヤキ残したい！！

○多目的広場 (●×1)

・老木を植え替えて芝生広場にしたい

・マルシェやカフェができると良い

気になるところ (●)

○メインアリーナが2階のため大規模大会の準備や運営が煩雑かつ災害時の物資拠点にはしづらい (●×6)

・大会の準備がしづらい

○工事中は既存体育館の利用が継続できない (●×6)

・工事中使えない

■メイン・サブアリーナは工事中使えなくなるため、多目的広場に仮の体育館を建ててはどうか

・工事中に使えなくなるため、多目的広場に仮の体育館を建ててはどうか？

○建物が高くなり、日照面や圧迫面に懸念がある (●×4)

・高い建物が建つと、日当たりと風通しが悪くなるのが懸念点

○メインアリーナの下階に駐車場があるため建設コストがかかる (●×3)

■熊谷は暑いので、駐車場が下階になればイベントでも利用できると良い

・熊谷は暑いので、駐車場が下階になるのであれば、イベント利用などでも活用できると良さそう

○エントランスゾーン (●×1)

・エントランスは顔になるから大切に検討できるとよい (混雑、駐車場、建物)

○運動ゾーン (●×1)

○大会利用と市民利用は両立しづらい (●×1)

・メインアリーナを使っている時に市民が使いづらいのは気になる

・トレーニング等は大会の時を含めていつでも使えるようになっていけばよい

- ・今も同じ状況なので、大きなデメリットとは言えない

○駐車場台数（●×1）

- ・現アリーナ敷地では 3500 客数入らないのでは？
- ・河川敷まで行くのは大変。不便

○文化センター用駐車場（●×1）

- ・1F 駐車場は文化センターと共有できるようにする。現在、文化センター用は体育館の人が使えない
- ・B1F の駐車場は、水がでる

■駐車場は隣接する文化センターや小学校など周囲の敷地を含めて広く考えてはどうか

- ・駐車場を敷地内だけにするのではなく、隣接する文化センターや小学校など周囲の敷地も含めてより広く考える必要があるのではないか、前回も意見している

○メインアリーナの下階に体育館用駐車場がある（●×2）

- ・駐車場は上に持って行った方が建設コストが下がる
- ・1 階がメインアリーナで 2 階が駐車場が良い
- ・1 階がメインアリーナの方が目の不自由な人にとっても使いやすい

○メイン・サブアリーナ（●×1）

- ・全ての機能が本当にこの敷地面積の中に収まるのかが気になる
- ・柔剣道場はすでに手狭なので、どのような面積と配置になるかが知りたい
- ・バスケットコート面積なども狭くなりすぎないかが心配。家族や友達が応援できるような余裕もほしい

○メインアリーナが 2 階にあるため、浸水被害を受けにくい

- ・2 階にあると言っても河川から近すぎるので浸水被害は想定できる

○観客席数が固定約 1,300 席では少ない

- ・1,300 席では席数が少なすぎる

■多目的広場の使い方とは…？

- ・予約して使う使い方もあるのではないかと（野外スポーツでの利用を想定）

D 案

D. コストを抑えた案

C案の建物の1階部分の駐車場を公園側に配置することで、建物の高さを抑え、使いやすくすることでコストダウンを図った案。

アリーナ ※現行：バスケット2面、1階	メインアリーナ：バスケット3面、1階 サブアリーナ：バスケット1面
観客席数 ※現行：固定 958席	固定 約1,300席 仮設 約1,800席
駐車場台数 ※現行：70台	70台（現荒川公園敷地側） 200～250台（荒川河川敷）
公園オープンスペース（駐車場除く） ※現行：13,300㎡（慰霊塔、児童館、管理事務所除く）	約13,500㎡
体育館建設費	約90億円

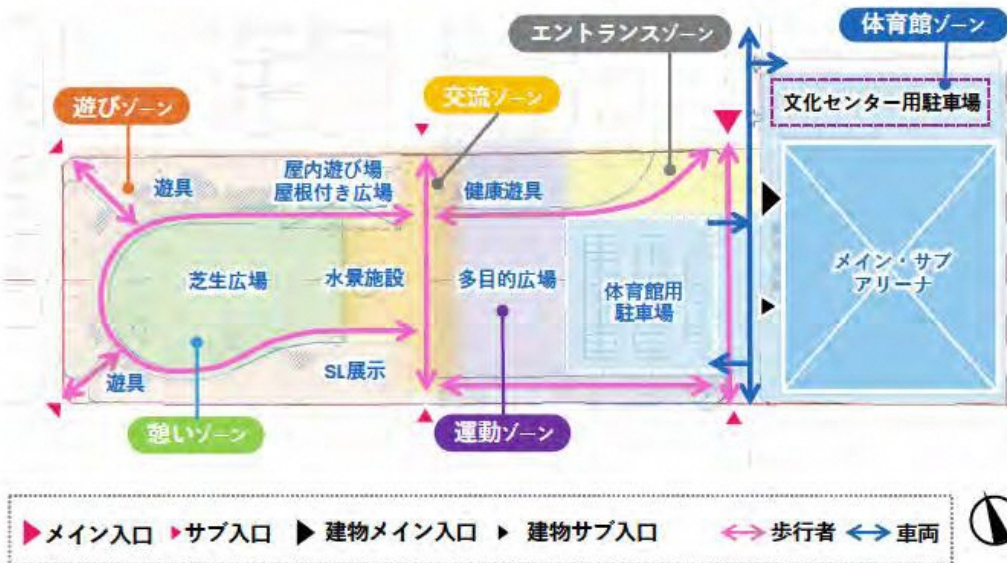


【メリット】

- 体育館整備費が最も抑えられ、運営しやすいので維持管理費も下がる
- 既存樹木をより多く保全できる
- 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい
- 建物の高さを抑えられるため、周囲への圧迫感を軽減できる

【デメリット】

- 公園のオープンスペースがやや少ない
- 工事中は既存体育館の利用が継続できない
- 公園側の駐車場と体育館の移動や搬入が不便かつ自動車と歩行者の動線が交錯
- 大会利用と市民利用は両立しづらい
- 公園入口に駐車場が立地し景観性を損ねている



良いところ (●)

- 体育館整備費が最も抑えられ、運営しやすいので維持管理費も下がる (●×14)
 - ・ 維持管理費などのランニングコストについては将来の市民が払うことも考えた時に一番大事
 - ・ ネーミングライツなど民活でコストカットできないか？
 - ・ コストが低いのはわかりやすいメリットである
- 公園と体育館の利用者動線がわかりやすい (●×2)
- 文化センター用駐車場 (●×1)
- 体育館用駐車場 (●×1)
 - ・ サブアリーナがこの場所がないことが良いため
- 既存樹木をより多く保全できる (●×2)
- 体育機能が残る前提で、コスト・景観的にはバランスが良い

- ・ 体育機能が残るという前提で、コスト/景観的にはバランスが良い

■敷地がコンパクトでメインアリーナが1階にある

- ・ コンパクトでメインアリーナが1階フロアなのは良い

■体育館建設費が安いのは良い

- ・ 建設費は安い

気になるところ (●)

○公園のオープンスペースがやや少ない (●×8)

- ・ 涼しさが保てるかが心配
- ・ 多目的広場が狭い印象

○工事中は既存体育館の利用が継続できない (●×6)

- ・ 3年間、大会やヨガなどできなくなってしまう
- ・ 高齢者の方でも近くないと来られない人もいる
- ・ シャワーや会議室などの諸室が今と同等レベルになるなど、限られてしまうのは残念
- ・ 解体～工事で2年以上かかる
- ・ 工事期間中使えないのがキビシイ…

○公園入口に駐車場が立地し景観性を損ねている (●×5)

- ・ エントランスの景観のよさは大事

○エントランスゾーン (●×4)

- ・ エントランスに駐車場があると駐車場がメインに見える

○メインアリーナの席数が少ない (●×2)

○大会利用と市民利用は両立しづらい (●×1)

- ・ 具体的にどのように使いづらくなるかのデメリットを知りたい

○メイン・サブアリーナ (●×1)

- ・ 全ての機能が本当にこの敷地面積の中に収まるのかが気になる
- ・ 柔剣道場はすでに手狭なので、どのような面積と配置になるかが知りたい
- ・ バasketコート面積なども狭くなりすぎないかが心配。家族や友達が応援できるような余裕もほしい

○公園側の駐車場と体育館の移動や搬出入が不便かつ自動車と歩行者の動線が交錯 (●×1)

- ・ ここに駐車場が来ると、もったいない
- ・ 一度崩してしまうと元には戻らないし、フェンスも出てくると思うので景観の観点からも良くない

○体育館用駐車場 (●×1)

- ・ 公園側に配置されていたり、住宅が近かったりなどして、排ガス問題が出そう

■ 体育館用駐車場は公園ではなく小学校の跡地に設けてはどうか

- ・ 公園内に設けるのではなく、隣の小学校の跡地に駐車場を設けてはどうか

今後の計画の方向性について

共通の価値

①将来を担う、熊谷市のこどものための場にしよう

■将来（40～50年後）のニーズを考えて、何が必要か考える

- ・若い人のニーズもしっかりきいていくことが必要
- ・熊谷市の将来の人口が19万人を下回るときに、体育館などの利用ニーズが本当にあるのか
- ・意見をアンケートよりもWS。アンケートは主体的な意見が取りづらい
- ・将来熊谷に住む若い人の意見を吸い上げてほしい
- ・意見を出しやすくするためには同世代でWSをしてもらうことが良いのではないかと

■人口減少も想定される中で熊谷市の財政にあったものを考えたい

- ・熊谷市の財政にあったものを考えたい
- ・人口は、2040年には18万人から14万人に変動すると言われている

■何のため、誰のために体育館をつくるのか明確にする必要がある

- ・市民や子どもの利用がメインなら、資料にあった利用シーンも見直す必要がある

■前回のパブコメや近隣住民など、市民の意見を大切に受け止めながら計画を検討してほしい

- ・前の計画についてパブコメが実施されたが、その時の声をどのくらい反映しているのか
- ・案を見ても声を反映しているように感じない
- ・市民の意見はワークショップだけではなく、パブコメにも詰まっているので大切にしてほしい
- ・近隣に住んでいる人の意見をしっかり聞いて進める

■市民にとって使い勝手の良い施設であること

- ・子ども・若者をはじめ、市民にとって使い勝手の良い施設であることが大前提

■こどもが一流のスポーツに触れられる場になると良い

- ・欲を言えば、熊谷市の子どもが一流のスポーツに小さい時から触れられるような場にもなってほしい

■こどもたちが使えるスケボーパークやボルダリングといったニュースポーツなどができるとよい

■新しい価値を提供する空間に

■新しいスポーツができるような広場や体育館になってほしい

- ・多目的広場はよい
- ・ピククルボールのような新しいスポーツができる場があるとよい

②地域が一体になり、まちの資源や取組との相乗効果を生み出す場にしよう

■かわまち、南口の活性化、緑地計画などの市内の他の計画とも連携して、広い視野で考える

- ・他の計画とも連携して考えるべき

■市内の他施設や計画、周辺エリアなど全体で考えたい

- ・そもそも、どんな計画や将来イメージ像があって、この案を検討しているのかわからない
- ・「〇〇なまち」という市のテーマや、熊谷駅南口のまちの将来イメージに基づき検討するならわかる
- ・熊谷駅は新幹線が止まり、この場所は駅近という理由で、「人が集まるものを」と案が作られているように感じる
- ・人を呼ぶのであれば「熊谷スポーツ文化公園」を活用するなどの役割分担をしても良いのでは。「熊谷スポーツ文化公園」もそれほど人が呼べない時もあるようだ。すでにある施設に人を呼ぶ見本を見せてもらえると、この場所にも人が呼べると思える
- ・アリーナと公園を一体的に考えたい。アリーナの利用者や、子供が利用している間の保護者などが、公園で開催されている市民マルシェやカフェで寛ぐなど（近所にカフェがあるがそれとは役割分担できるといい）。公園は河川敷と一体化して検討する

■駅側から河川敷へ行く動線や施設へのアクセス動線など、まち全体の動線を考えた方が良い

- ・河川敷へ抜ける道路については、車も通れる
- ・体育館のバスの荷下ろしなどの動線も考えられるとよい
- ・まちのなかの新しい動線についてもシミュレーションが行われ、課題や評価がされるとよい
- ・説明を受けた渋滞に関する調査だけでは足りないと思う

■まちのなかの動線をしっかり検討し、混雑にならないアクセスを考えたり、まちのなかにある店舗や拠点との連携し、まち全体が盛り上がるような計画にしてほしい

- ・混雑のためにも、駅から体育館につながる歩道ができるとよい
- ・審判や選手が遅刻することもある
- ・アクセスを考えてほしい
- ・体育館や公園からまちのなかにある素敵なカフェを案内できるとよい
- ・まち全体を盛り上げる

■一体整備によって街の目玉になるような体育館になるとよい

- ・深谷や鴻巣に負けないまちになるとよい
- ・体育館をきっかけにまちづくりを盛り上げたい
- ・南口の開発と一緒に連携する
- ・南口だからこそできる開発を！
- ・立地はいいから熊谷にしかないような体育館ができるとよい
- ・ライブなどによって街全体が経済的にうらおう体育館になるとよい
- ・文化施設の集積を生かし、新幹線を降りてそのまま来られるペDESTリアンデッキなどができるとよい
- ・桜や花火が見られる体育館として盛り上がるとよい

■市が持っている DX の情報なども活用した計画を検討できると良さそう

- ・ヒートマップなどの情報が出ているが、DXの情報も活用してるのか？
- ・建物ができるとまちがヒートアイランドにならないかなども検証できる？

③自然災害、酷暑、防犯などの地域課題の解決につながる場にしよう

■避難施設としての位置付けを明確にしてほしい

- ・荒川の洪水の影響があるエリアであり、避難施設とするなら位置付けをきちんと説明してほしい

■浸水対策も重要

- ・過去にも浸水があり、災害（水害）心配
- ・エリアで考えた時に周りが浸水して、体育館に行けないことがあり得そう

■浸水時に防災機能が高い拠点に

- ・アリーナ 1F だと浸水した時避難所として使えない
- ・この防災拠点の防災機能は市全体の計画にどのように位置付けられるかを踏まえた上で防災機能を検討すべき

■防災の観点から、体育館は2階建てがよい

- ・防災の観点からは体育館は2階建てがよい

■避難所としてはどのように活用するのか

- ・避難所としてはどう活用するのか

■排熱を考えて、風の通り道をつくってほしい

モデル比較検討案への視点

施設配置やボリュームに関するご意見

■既存の敷地、景観を最大限に活かす

- ・こどもがのびのび過ごせる
- ・荒川公園が小さくなった時、涼しくなくなりそうで心配
- ・木が健全になることは良いこと。みどりを更新することは必要だと思う
- ・大木は残した整備として、今あるものを最大限生かす
- ・土、バックネットは貴重
- ・公園は風が通り涼しいことも価値で、河川敷をウォーキングする人など南側の道の利用者のオアシスになる

■今の規模でも使いやすくして良い

- ・コストも安いので、規模は今のままでも良いのでは？
- ・市民としての使い勝手はいい
- ・年に1回の体育館の調整会議はすごく激しい

■公園はどの案でも今よりよくなりそう

- ・全ての案で公園として使える面積は現状より増えている
- ・公園はどの案でも今よりよくなる！
- ・新しい桜も植えられて、倒木の心配もなくなる。長い目で見て、桜の風景が残る
- ・今の多目的広場はほとんど使われていないため、整備で利用率が上がるのでは

■今の公園の敷地をできるだけ残したい

- ・できるだけ、今の公園敷地を残したい

■公園の空間機能をなるべく維持しながら体育機能を高める

■体育館の計画は現敷地内で考えたい

- ・体育館は、現敷地内で考えたい

■体育館はここで建て替える

- ・体育館はこの場所で建て替えてほしい、建替えそのものがなくなるのであれば、今日集まっている意味がない

■体育館は駐車場の広く取れる別の場所につくって公園として整備する

- ・体育館は駐車場の広く取れる別の場所に作ってはどうか
- ・体育館ではなく、公園としてきちんと整備してはどうか
- ・熊谷について展示したり、カフェでお茶ができるとよい
- ・整備は今すぐでなくてもよいのではないか

建設費・維持管理費等に関するご意見

■コストと機能のバランスが必要

- ・ネーミングライツなど民間活用などでコストカットできないか？

■しっかり稼ぐことも考える

- ・収益性も考えて、稼ぐ施設へ
- ・日常的に沢山使われることを考えて欲しい
- ・美味しい、きれい、楽しい、涼しいという価値を発信してイベントなどで市外からの来街者を呼び込む
- ・ランニングコストのこと、維持費のことを知りたい
- ・40~50年後を考えてほしい
- ・大きいイベントがあると、南口の方も活性化する
- ・赤字ではなく黒字になると良い
- ・体育館の建設費 100 億は高い
- ・体育館利用料が今も高いという意見はあるが、近隣に比べれば安い
- ・商業利用では料金高くするなども考えられる

■ **長期的な目線で、元の案より管理費が少なくなるとよい**

- ・ 前回の案より管理費が少なくなると良い

■ **予算はどこにあるのか、安く整備してほしい**

■ **太田市のアリーナは成功事例として挙げられるが、企業が出資している**

- ・ 太田市のアリーナ運用が成功事例として挙げられるが、ここは企業が出資している

駐車場に関するご意見

■ **駐車場は、平日など体育館の利用が少ない日もあるので、体育館用と決めず公園利用者も使えるようにする**

■ **大型バスの来場を見越した駐車場や動線の設計が必要**

- ・ 選手は電車移動が多いが、大型バス 2 台くらいの動線も使いやすい形で明確に示されるとよい

体育館の利用に関するご意見

■ **市民がいつも十分に使える体育館が良い**

- ・ 市民がいつも使える体育館が良い

■ **体育館の使い方として、夏にスポーツ大会ができるようになったり、練習場としても活用できると良い**

- ・ 冷房がないため、今は夏に大会ができない
- ・ 練習場は各学校で行なっている
- ・ サブアリーナができれば練習場に活用できそう

■ **具体的に誰がどのくらいの頻度で利用するかなどどのような体育館にしたいか考えたい**

- ・ どんな体育館にしたいのか（誰がどれくらいの頻度で利用するのか）

■ **メイン・サブアリーナは 1 階にある方が使いやすく大会運営もしやすい**

- ・ 1 階にしてなるべく席数を多く取る
- ・ 2 階に会議室、柔剣道場、ヨガなどにも使える多目的スペースを設ける
- ・ 受付は 1 階でも事務室は 2 階にあってもよい
- ・ 目の不自由な方や車椅子の方にとっても 1 階の方が使いやすい

■ **プロスポーツを呼ぶよりも、市民が日常的に安く体を鍛えられる体育館がよい**

■ **ロンドンのサッカークラブは街中にあるが、そのようなイメージをもった**

- ・ ロンドンのサッカークラブは街中にある。そんなイメージをもった

■ **プロスポーツ等を誘致する観点では元の案も良かった**

- ・ プロのホーム等として使うならある程度の規模が必要
- ・ スポーツからは既存の案がけっこういい！

■ スポーツの大会等の開催を見据えて、使い勝手のよい設計だとよい

- ・ バスケット4面、バレーはこの案でなんとかOKだが、できれば建物は一体の方が良い
- ・ メイン3面、サブ2面だとより良いが全体で4面あればなんとかOK

■ 観客席に関するご意見

■ プロスポーツを呼べるような観客席数にしてほしい

- ・ 熊谷には名所旧跡がなく、外から人を呼ぶにはプロスポーツを呼ぶべき
- ・ 熊谷市にはお金がないため、バスケット、バレー、ラグビーをなどのプロスポーツを呼んで収益を上げていきたい

■ 観客席の基準がわからないため事例を提示してほしい

- ・ 観客席の法的な基準などは決まっていないため、事例などを紹介することはできる、例えば、Bリーグは5000席必要だが、現案では中学・高校のスポーツ大会を想定している。プロのチームを呼ぶ仕様にはしない想定で検討している（事務局回答）

■ 施設の利用継続に関するご意見

■ 代替場所を探すのは大変なので、工事期間中も体育館が使えることは重要

- ・ 既存の体育館を使い続けられるとよい！
- ・ 代替場所を見つけるのが難しく、なくなると困る

■ 建設期間もスポーツの大会が継続して実施できるような進め方にしてほしい

- ・ 開発の段階でもスポーツの大会が継続して実施できるようにしてほしい
- ・ 新しくなった体育館では、今使用してる人が熱中症のリスクなどがなく、健康を維持しながらスポーツができる環境になってほしい

■ 公園の利用に関するご意見

■ 盲導犬が安心してトイレを usable 場所をつくる（芝生があるくらいで良い）

■ SL 展示を残すならもっと活かしてほしい

- ・ 残すならもっときれいにしてもっと活かすように工夫してほしい
- ・ 汚い、触れない、近寄れないというイメージがある
- ・ 万平公園に置いてあるような解説版をここにも置いて、歴史をわかるようにしたらよい

ワークショップの運営や内容について

- 事前に資料を見られるようにしてほしい
- 案の良し悪しを判断する基準が不明瞭であるため、決まっていることを提示したり、基準がない場合には事例を紹介するなどしてほしい
- 今後の検討に向けてさらに知りたいこと
 - ・ 人口の推移
 - ・ 税収の見込み、将来的に維持できるのか
 - ・ 維持費や利用料への影響
 - ・ 市の防災計画におけるこの拠点の位置付け
 - ・ 多目的広場の利用状況
 - ・ 施設内の配置イメージ
 - ・ スポーツ規模の想定
 - ・ 民間の力を活用したコストダウンの可能性